

被災地復興支援事業
被災地視察・商談会
「伊達な商談会
in KESENUMA」

5月27日(月)・28日(火)



商談会の様子。およそ180件の商談が行われた

東日本大震災被災地復興支援事業の一環として、宮城県気仙沼市を訪れ、現地水産加工品業者などとの商談会を開催した。これは、宮城県商工会議所連合会が被災地産品の購買によって地元企業の復興を支援しようと企画した「伊達な商談会 in KESENUMA」に当所が参画・協力したもので、全国8都市の商工会議所から百貨店やスーパーなど32社のバイヤーが参加。現地からは気仙沼市をはじめ石巻市や南三陸町から46社が売り込み企業として参加した。被災企業の取引先を増やすことで復興支援に貢献したいと参加した札幌のバイヤーからは、「気仙沼の方の熱き想いが伝わり、商談を成立することができた」との声も聞かれ、実り多い商談会となった。



↑被災加工工場の現状を視察。現在も生産ラインが完全に復旧できていないという



震災直後のままとっている「第18共徳丸」



気仙沼市の復興状況について現地視察を行った